【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

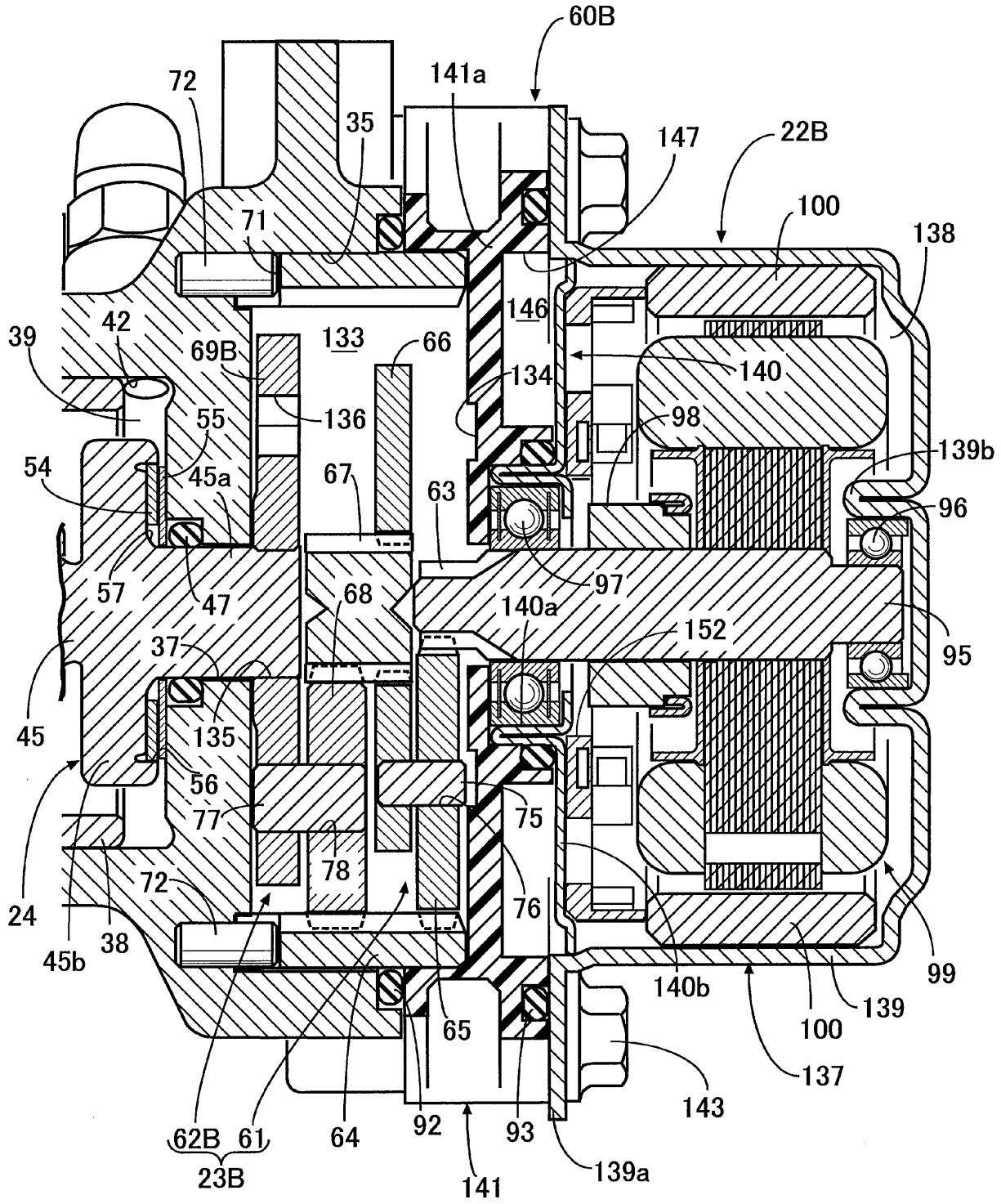
【公開番号】特開2011-179650(P2011-179650A)
【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2011-037
【出願番号】特願2010-46599(P2010-46599)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　1/46　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　1/46

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月3日(2011.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７０】
ところで第１の遊星ギヤ機構６１において、第１キャリア６６には複数の第１支持ピン７５…の一端部が固定され、第１遊星ギヤ６５…に設けられた第１支持孔７６…に第１支持ピン７５…の他端部が挿通されるのであるが、各第１支持ピン７５…の他端部に対向する環状凹部９１が、ギヤケース６０Ａの第１遊星ギヤ６５…に対向する壁面、この実施例１では、キャリパボディ２６とともにギヤケース６０Ａを構成するモータケース８３の一部である蓋部材８８の平板部８８ｂに形成されるので、第１遊星ギヤ６５…に対する第１キャリア６６の軸方向相対移動によって第１遊星ギヤ６５…から突出した第１支持ピン７５…の他端がギヤケース６０Ａの内面に接触してしまうことを防止しつつ第１支持ピン７５…の長さを長く設定することができ、それによって第１遊星ギヤ６５…への第１支持ピン７５…のかかり代を大きくして第１遊星ギヤ６５…の回転安定性を確保することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９５】
しかも前記蓋部材主部１４１ａの外周面には、前記ボルト１４３…を挿通させる円筒状のカラー１４４…が埋設される複数のボス部１４１ｃ…と、それらのボス部１４１ｃ…間にそれぞれ配置される前記凹部１４２…とが形成され、前記蓋部材主部１４１ａの半径方向に沿う前記ボス部１４１ｃ…の内端部には、それらのボス部１４１ｃ…の両側の前記凹部１４２…を相互に連通させる肉抜き連通孔１４５…が形成される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１０９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１０９】
ところで第１の遊星ギヤ機構６１において、第１キャリア６６には複数の第１支持ピン

７５…の一端部が固定され、第１遊星ギヤ６５…に設けられた第１支持孔７６…に第１支持ピン７５…の他端部が挿通されるのであるが、各第１支持ピン７５…の他端部に対向する環状凹部１３４が、ギヤケース６０Ｂの第１遊星ギヤ６５…に対向する壁面、この実施例２では、キャリパボディ２６とともにギヤケース６０Ｂを構成するモータケース１３７の一部を構成する蓋部材１４１に形成されるので、第１遊星ギヤ６５…に対する第１キャリア６６の軸方向相対移動によって第１遊星ギヤ６５…から突出した第１支持ピン７５…の他端がギヤケース６０Ｂの内面に接触してしまうことを防止しつつ第１支持ピン７５…の長さを長く設定することができ、それによって第１遊星ギヤ６５…への第１支持ピン７５…のかかり代を大きくして第１遊星ギヤ６５…の回転安定性を確保することができる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１６】


60B
72
141a
35
147
22B
71
100
138
146
39
42
133
66
69B
134
140
55
136
98
139b
54
45a
67
63
96
57
47
68
97
140a
152
95
37
45
135
56
77
75
24
78
72
76
99
45b
38
140b
139
65
100
137
143
62B
61
64
92
93
139a
23B
141